

科学研究費助成事業（国際情報発信強化）中間評価

課題番号	18HP2003	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
オープンアクセスジャーナル AHC の国際標準化による国際展開力の強化および形態学関連学会との連携		日本組織細胞化学会	理事長・小澤 一史
学術刊行物の名称			(略称)
Acta Histochemica et Cytochemica			AHC

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>当初計画として、次の①～③を掲げており、ほぼ順調に達成されている。</p> <p>① AHC Webサイトの刷新による国際標準のインターフェースの整備、形態科学系ジャーナルとの連携によるWebポータルサイトの構築による海外からの投稿数の増加及び海外論文採択率の向上</p> <p>② インパクトファクター (IF) 値の向上</p> <p>③ 国際学会での広報活動強化と海外編集委員の増加</p> <p>ただし、中間評価報告書内で「査読クオリティの更なる向上を目指して Associate Editor を1名追加し4名体制にした」とあるが、追加するだけでは不十分であるため、より練られた取組が求められる。</p> <p>また、国際情報発信強化の視点から、海外レフェリーが依然として任命されていないこと及び海外からの掲載件数が少ないことについては、より一層の努力が望まれる。</p>	